

播磨国野々上・伊和村文書概要

- 1: 文書群番号 065002
- 2: 文書群名 播磨国野々上・伊和村文書
- 3: 出所 播磨国宍粟郡伊和村治兵衛家カ
- 4: 家業・役職等 伊和村庄屋・野々上兼帯庄屋
- 5: 地名 ①野々上村…播磨国宍粟郡神戸村のうち／播磨国宍粟郡野々上村／姫路県宍粟郡野々上村／飾磨県宍粟郡野々上村／兵庫県宍粟郡野々上村／兵庫県宍粟郡河東村野々上／兵庫県宍粟郡山崎町野々上／兵庫県宍粟市山崎町野々上 ②伊和村…播磨国宍粟郡伊和村／姫路県宍粟郡伊和村／飾磨県宍粟郡伊和村／兵庫県宍粟郡伊和村／兵庫県宍粟郡神戸村伊和／兵庫県宍粟郡一宮町伊和／兵庫県宍粟市一宮町伊和
- 6: 行政区分 ①姫路藩領／備前岡山藩領／山崎藩領／幕府領／大坂城代堀田正亮領／幕府領／尼崎藩領／姫路県／飾磨県／飾磨県第16区／兵庫県第16区／河東村／山崎町／宍粟市 ②山崎藩領／幕府領／大坂城代堀田正亮領／幕府領／幕府領・尼崎藩領相給／姫路県／飾磨県／飾磨県第16区／兵庫県第16区／神戸村／一宮町／宍粟市
- 7: 歴史 野々上村・伊和村は播磨国宍粟郡に位置する(現宍粟市)。ともに明和6年(1769)の「明和の上知」以降、播磨国の尼崎藩飛び地となった。安永2年(1773)以降は伊和村の土居氏が代々大庄屋をつとめ(伊和組)、明治にいたった。伊和組は播磨国宍粟郡村々のうち、おおむね掛保川流域の村を統轄した大庄屋組で、設置当初は植木野組と称した。野々上村も伊和組に属していた。
野々上村の村高は天保5年に(1834)335石余とある。寛文年間(1661～1673)に家数51軒・人数293人、明治14年(1881)には戸数88軒・人数354人。神社は天保元年五十波(いかば)村から勧請した八幡神社。寺院は真言宗東雲寺・同宗西雲寺・浄土宗永尾山陸雲寺。
伊和村はもとは神戸(かんべ)村の一部。明和6年以降は幕府領と尼崎藩領の相給。村高は天保5年に439石余とあり、うち尼崎藩領は135石余。同13年、尼崎藩領の家数63軒・人数205人。寺院は、真言宗平位山神福寺。(『角川日本地名大辞典兵庫県』による)
- 8: 伝来 昭和40年(1965)に市史編集室が古書籍商より購入。
- 9: 史料入手先 古書籍商
- 10: 点数 70点(目録件数21件)
- 11: 年代 寛政4年(1792)～安政5年(1858)
- 12: 構造と内容 本文書群は、近世における野々上村及び伊和村の村政史料からなる。野々上村関係史料は、村政史料として年貢免状・年貢諸式勘定目録・小物成帳がある。また真言宗に限定されるが人家改帳・人数増減帳がある。伊和村関係史料は、真言宗・一向宗の人家御改帳の他、村政史料として年貢米・銀勘定目録等がある。
- 13: 関連史料 播磨国安黒村文書(1)(2)、宍粟郡安積村兵庫県布達、播磨国上郡村尼崎藩交易役所文書など
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野未央